

## インフルエンザ注意報を発表します

福岡県における令和元年第50週（12月9日から12月15日）のインフルエンザ定点当たり報告数※<sup>1</sup>が「15.83」となり、注意報※<sup>2</sup>の開始基準値である「10」を超えたため、本日、注意報を発表します。

今後、県内でインフルエンザの本格的な流行が予想されますので、県民の皆様には予防対策を徹底していただくとともに、手洗い励行、マスクの着用など咳エチケットによる感染拡大の防止に努めていただくよう、注意を呼びかけるものです。

- ※1 1週間における1定点医療機関当たりのインフルエンザ患者の受診者数で、県内198か所のインフルエンザ定点医療機関から毎週報告を受け、算出しています。
- ※2 1定点医療機関当たりの1週間のインフルエンザ患者報告数が10以上となった場合に注意喚起のためお知らせするもので、今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いことを表します。

### 1 流行状況

- ・定点当たり報告数が令和元年37週（9月9日から9月15日）に流行開始の目安としている「1.0」を超え1.20となり、その後、11月上旬から報告数が増加し、第50週（12月9日から12月15日）に「15.83」と「10」を超えたため、本日、注意報を発表。（昨シーズンは第52週に発表）
- ・県内の地区別の流行状況は、定点当たり報告数でみると、多い順に福岡地区（21.47）、北九州地区（12.81）、筑豊地区（12.40）、筑後地区（7.40）。

福岡県におけるインフルエンザ流行状況（シーズン別）

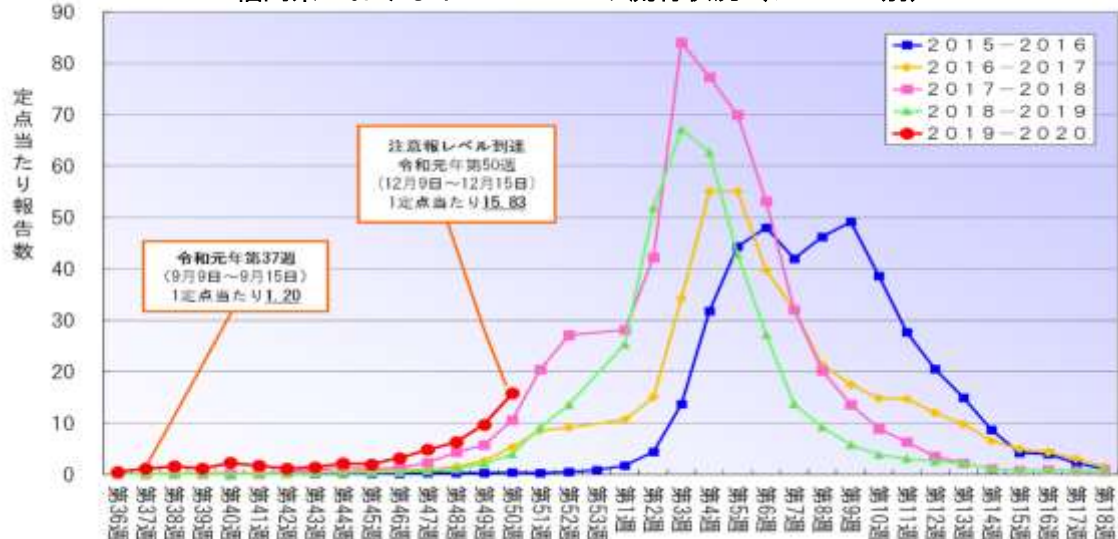


表 福岡県におけるインフルエンザ定点当たり報告数（第49～5週・シーズン別）

下線部分は注意報を発表した週

|      | 2015-2016    | 2016-2017    | 2017-2018    | 2018-2019    | 2019-2020    |
|------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 第49週 | 0.33         | 2.66         | 5.79         | 2.11         | 9.72         |
| 第50週 | 0.39         | 5.35         | <u>10.57</u> | 4.06         | <u>15.83</u> |
| 第51週 | 0.32         | 8.63         | 20.42        | 9.14         |              |
| 第52週 | 0.48         | 9.10         | 27.17        | <u>13.59</u> |              |
| 第53週 | 0.83         |              |              |              |              |
| 第1週  | 1.79         | <u>10.73</u> | 28.14        | 25.33        |              |
| 第2週  | 4.41         | 15.11        | 42.26        | 51.87        |              |
| 第3週  | <u>13.68</u> | 34.29        | 83.99        | 67.18        |              |
| 第4週  | 31.88        | 55.10        | 77.35        | 62.70        |              |
| 第5週  | 44.40        | 55.03        | 69.96        | 42.80        |              |

<参考>

- ・学級閉鎖等について（令和元年12月9日から12月15日までの報告状況）  
報告施設数 79 施設  
内訳：幼稚園 8 施設、小学校 54 施設、中学校 13 施設、高等学校 2 施設、  
その他（特別支援学校等） 2 施設
- ・現在のところ、県内において今シーズン最も多く検出されているインフルエンザウイルスの型はA/H1N1亜型。

## 2 インフルエンザをひろげないために

### （かからない）

- ① 日頃から手洗いの励行に努めましょう。
- ② 十分に栄養や睡眠をとるなど体調管理をしっかり行い、体力や抵抗力を高めましょう。
- ③ 部屋の換気を定期的に行いましょう。
- ④ インフルエンザワクチンによる予防接種は、感染後に発病する可能性を減らし、重症化を予防する効果が期待できます（効果が現れるまでに2週間程度の期間を要します）。

### （うつさない）

- ① 咳・くしゃみの際にはティッシュなどで口と鼻を押さえ、周りの人から顔をそむけるなどの「咳エチケット」に努めましょう。
- ② かかってしまった場合には、学校などに無理に行かないよう自宅等で療養し、症状がある間はマスクを着用するなど感染拡大防止に努めましょう。
- ③ 急な発熱、咳やのどの痛み、全身の倦怠感などの症状があらわれた場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

### ◆関連する情報

- ・今冬のインフルエンザ総合対策（福岡県）  
<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/seasonal-flu-package.html>
- ・福岡県感染症情報（インフルエンザなど感染症の発生状況）  
[http://www.fihes.pref.fukuoka.jp/~idsc\\_fukuoka/](http://www.fihes.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/)
- ・厚生労働省（令和元年度今冬のインフルエンザ総合対策についてのホームページ）  
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/index.html>
- ・国立感染症研究所（インフルエンザのホームページ）  
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/flu-m/3140-influ-top.html>
- ・福岡県医師会（ホームページ）  
<https://www.fukuoka.med.or.jp/>